

令和 7 年 9 月 3 0 日 不採択

愚陀佛庵再建について安全性や住環境への配慮を求める請願について

(趣 旨)

番町小学校プール跡地に計画されている「愚陀佛庵再建」について、住民生活や児童の安全に直結する重大な課題があります。最大の問題は、地域住民や町内会への事前説明が一切なく、計画が一方的に進められていることです。その結果、東側出入口が通学路に面して設けられるなど、児童や住民の安全を脅かす計画となっています。実際に転倒事故により大けがを負う事例も発生しており、危険性は現実のものです。住民への十分な説明もなく、安全性や住環境への配慮が欠けたまま計画が進められることに対し、住民として強い不安と不信感を抱いております。

請願事項の 1 点目は、愚陀佛庵再建計画に関し、市による正式な住民説明会を速やかに開催するよう求めます。昨年 1 2 月の新聞報道以来、市広報紙等には「愚陀佛庵再建」に関する記事が掲載されていますが、住民への正式な説明は現在に至るまで一度も行われていません。市からは「法的には説明の必要がない」との回答がありました。しかし、小学校に隣接し、マンションのすぐ前に位置する施設である以上、再建案が持ち上がった段階で相談や説明が行われるのが当然であり、その欠如こそが大きな問題です。

2 点目は、東側出入口の設置を見直し、西側への変更を検討するよう求めます。東側は番町小学校の児童が登下校に利用する大切な通学路であり、歩道幅も十分ではありません。そのため、不特定多数の来訪者が往来することで児童の安全が脅かされます。一方、西側は車線幅も広く、来訪者の乗降にも適しており、安全性が高まります。また、近年のカメラ機能の普及により、施設の 2 階部分から児童の運動場や住民生活が撮影され、拡散される懸念もあります。

愚陀佛庵の再建が取り下げられないのであれば、少なくとも出入口を西側に変更することが、児童や住民の安全を守る最低限の措置であると考えます。

3 点目は、児童の登下校の安全を最優先とした交通動線、安全対策を明示するよう求めます。児童が安心して登下校でき、学校生活やグラウンド活動を妨げられることなく行えるよう、具体的な安全対策を明示する必要があります。

4点目は、騒音・ごみ・無断駐車・治安の悪化など、住環境への具体的な対策を示すよう求めます。駐車や大型バスの進入などが懸念されます。また、多目的利用として演奏会などが予定されていることから、防音対策不備による騒音被害が危惧されます。不特定多数の来訪者により、食べ物や飲料容器のポイ捨て、無断駐車や送迎車両などによる路上駐車が増え、通行の妨げになることも予想されます。開館前の出入口周辺でのたむろ、悪天候時にマンション内へ入り込むこと、公共トイレがないことによる路上での不適切行為も懸念されます。市の説明では「駐車場を案内する」「警備員が声かけを行う」との回答でしたが、守られない場合の具体的な対処策が示されていません。

さらに、プール跡地を再利用する方法は庵の再建だけではなく、地域の子どもたちが伸び伸び活動できる環境整備も検討されるべきです。小学生の6年間は心身の成長にとって極めて重要であり、その活動が疎外されないよう配慮が必要です。

私たち住民は、市の誰よりもこの土地を理解し、また愛しています。その土地が目の前で壊され、別のものになってしまう姿を、ただ見過ごすわけにはいきません。これが私たちの本心です。

以上の点について、議会において御審議いただき、市が説明責任を果たし、地域住民と子どもたちの安全、安心が守られるよう強く求めます。

記

（請願事項）

- 1 愚陀佛庵再建計画に関し、市による正式な住民説明会を速やかに開催すること。
- 2 東側出入口の設置を見直し、西側への変更を検討すること。
- 3 児童の登下校の安全を最優先とした交通動線、安全対策を示すこと。
- 4 騒音、ごみ、無断駐車、治安悪化など、住環境への対策を示すこと。